

令和5年度 蕨市市民参画と協働の実施状況

分野	項目	根拠条項	R4実施状況	R5実施状況	指標	※参考:将来ビジョン		達成状況	将来ビジョン目標値(R5)	市の考え
						R4	R5			
市民参画	審議会等による審議	第7条第1項第1号	審議会等: 73 (職員のみで構成する審議会等を除く) ・開催した審議会等: 46 (公開: 28(計47回開催、うち書面開催9回))、非公開又は一部非公開: 18) ・開催した審議会等の傍聴人数合計: 4人	審議会等: 76 (職員のみで構成する審議会等を除く) ・開催した審議会等: 51 (公開: 34(計71回開催、うち書面開催2回))、非公開又は一部非公開: 17) ・開催した審議会等の傍聴人数合計: 22人	公開した審議会等1回あたりの傍聴人数	0.1人	0.3人	-	-	新型コロナウイルスが5類に移行したことに伴い、書面開催の会議が少なかったことから、傍聴人数が増加した。 今後は、市ホームページに限らず様々な情報発信の手段を使った周知の仕方を検討し、傍聴人数の増加を図っていく。
	審議会等の公開と委員の選任	第8条	公募委員を含めるものとする審議会等: 13 うち公募委員が含まれる審議会等: 13	公募委員を含めるものとする審議会等: 17 うち公募委員が含まれる審議会等: 17	審議会等の公募委員の割合	20.3%	19.4%	×	20%以上	対象となる全ての審議会等で公募枠を設け、公募委員の割合は「審議会等の委員の公募に関する要綱」で規定する20%以上を維持するよう努めている。 今回目標に達せなかったことから、新規の審議会等を立ち上げる場合や委員の選任を行う場合に、改めて公募枠の確保について積極的に働きかけていく。
	パブリック・コメント	第7条第1項第2号	(1) 蕨市個人情報保護に関する法律施行条例【 0件 】 (2) 第3次蕨市環境基本計画・蕨市地球温暖化対策実行計画(区域施策編・事務事業編)・蕨市気候変動適応計画【 6件 】 (3) 蕨市マンション管理適正化推進計画【 1件 】 (4) 蕨市水道事業ビジョン【 1件 】	(1) 蕨市犯罪被害者等支援条例【 0件 】 (2) 蕨市将来構想【 5件 】 (3) 第7期蕨市障害福祉計画、第3期蕨市障害児福祉計画【 12件 】 (4) 蕨市地域防災計画【 2件 】 (5) 蕨市ヤングケアラー支援条例【 7件 】 (6) 第3次わらび健康アップ計画【 4件 】 (7) 蕨市開発許可の基準に関する条例【 0件 】 (8) 第9期蕨市高齢者福祉計画・介護保険事業計画【 4件 】 (9) 「『コンパクトシティ蕨』将来ビジョンⅡ」基本計画【 7件 】 (10) 蕨市立病院経営強化プラン【 4件 】 (11) 蕨市国民健康保険 第2期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画【 2件 】 (12) 蕨市男女共同参画パートナーシッププラン(第3次)【 5件 】	パブリック・コメント1回あたりの意見数	2.0件	4.3件	○	4件	令和5年度は前年度と比較し、身近な内容のものや、市全体にかかる計画等もあったため、1回あたりの意見数が増加した。 今後も、広く意見を求めるため、素案の設置場所など案件に応じた工夫に努め、パブリック・コメントの目的や実施の周知徹底を図っていく。
	意向調査	第7条第1項第3号	(1) 蕨市市民意識調査【 回答率45.8% 】	(1) 蕨市男女共同参画市民意識調査【 回答率33.4% 】 (2) 障害者福祉に関するアンケート調査【 回答率52.5% 】 (3) 蕨市市民意識調査【 回答率45.4% 】 (4) 第3期蕨市子ども・子育て支援事業計画利用希望把握調査【 回答率45.2% 】	市民意識調査の回答率	45.8%	45.40%	○	45%	・市民意識調査については、適宜設問の見直しや、外国人向け調査票の作成(令和2年度から実施)、お礼状兼協力依頼の送付などを実施しており、引き続き、回答率の向上に努めていく。 ・意向調査については、引き続き、計画の策定など、意向調査が効果的と思われる場合の実施を促すとともに、子どもや若者を含めた幅広い世代の市民の声を施策に反映できるよう工夫に努めていく。
	意見交換会	第7条第1項第4号	(1) 市長タウンミーティング 市公式Youtubeチャンネルでの動画配信、行政広報番組「ハローわらび」での番組放送により市長タウンミーティングを実施。市民の皆さんからご質問・ご意見を募集し、回答のうち主なものを動画配信・番組放送するとともに、市ホームページで回答を公表した。 【 質問数79件 】 (2) わらび若者ミーティング 新たな「将来ビジョン」策定に当たり、次代を担う若者の声をまちづくりに反映させることを目的とし、意見交換を行った。 【 参加者: 15人 】 (3) 学校・まちづくりミーティング これからの蕨市のまちづくりについて、中学生の意見を伺うため実施した。 【 参加者: 28人 】	(1) 市長タウンミーティング 令和5年度は、4年ぶりに実地開催し、市内7会場で市長との意見交換を行った。 【 参加者: 627人 】 (2) 蕨市立病院移転に関する市民説明会 市内5地区の公民館で、令和5年11月に示した病院の移転建替え方針案について説明及び質疑応答を行った。 【 参加者: 133人 】 (3) 障害者福祉に関する団体ヒアリング 団体活動について、障害のある人をめぐる状況と必要な支援等について、今後の活動について、市への要望・意見について等の内容で団体ごとのヒアリングを行った。 【 参加者: 8人 】	市長タウンミーティングの参加者	-	627人	○	現状値以上 (平成29年度: 518人)	・市長タウンミーティングについて、令和5年度は、4年ぶりの実地開催となり、会場も5会場から7会場に増やし開催した。 ・意見交換会については、引き続き、計画の策定など、意見交換が効果的と思われる場合の実施を促していく。
	ワークショップ	第7条第1項第5号	(1) 蕨の未来を考える市民ワークショップ 新たな「将来ビジョン」策定に当たり、市民の皆さまからご提言をいただき、策定の参考とするため実施した。 【 参加者数: 25人 】 (2) 錦町地区街区公園整備基本構想策定に係るワークショップ 錦町地区土地区画整理事業に伴い、新設予定の街区公園5か所の整備および富士見公園再整備について、特色ある公園となるよう市民の意見・要望を取り入れながら検討し、基本構想を策定した。 【 参加者数: のべ43人 】	実施なし	ワークショップの開催回数・人数	(1) 5回・25人 (2) 3回・のべ43人	-	-	-	令和5年度は開催実績がなかったが、引き続き庁内への周知に努め、実施の可能性を促していく。

令和5年度 蕨市市民参画と協働の実施状況

分野	項目	根拠条項	R4実施状況	R5実施状況	指標	※参考:将来ビジョン		達成状況	将来ビジョン目標値(R5)	市の考え
						R4	R5			
協働	協働の環境づくり	第10条	1.蕨市協働推進月間(毎年8月)にあわせて、係長、専門員及び主査級の職員と市民が合同で協働のまちづくり研修を実施し、協働意識の向上および推進に努めた。 2.わらびネットワークステーションにおいて、市民活動の支援となる以下の事業を実施。 (1)市民活動に関する各種情報の収集及び提供事業 ・活動団体情報のファイル閲覧 ・ホームページの充実 ・情報紙の発行【年4回】 (2)市民活動等に関する相談事業【688件】 (3)わらび市民活動人材ネットつながるバンク【登録81件、マッチング44件】 ・「市民活動セミナー」開催による資質向上 ・「ちょこっとセミナー」の実施【0件】 (4)NPO法人等市民活動団体及びボランティア等育成事業 ・市民活動ネットワークフォーラム2022【259人】 ・市民活動セミナー【実施なし】 3.市民活動の支援としてコミュニティバス等で市民活動団体等を紹介する展示を実施した。	1.蕨市協働推進月間(毎年8月)にあわせて、職員と市民が合同で協働のまちづくり研修を実施し、協働意識の向上および推進に努めた。 2.わらびネットワークステーションにおいて、市民活動の支援となる以下の事業を実施。 (1)市民活動に関する各種情報の収集及び提供事業 ・活動団体情報のファイル閲覧 ・ホームページの充実 ・情報紙の発行【年4回】 (2)市民活動等に関する相談事業【779件】 (3)わらび市民活動人材ネットつながるバンク【登録68件、マッチング51件】 ・「市民活動セミナー」開催による資質向上 ・「ちょこっとセミナー」の実施【実施なし】 (4)NPO法人等市民活動団体及びボランティア等育成事業 ・市民活動ネットワークフォーラム2023【93人】 ・市民活動セミナー【2回実施】 「二次元コードの入った名刺作成講座」(1回目12名、2回目14名参加) 3.市民活動の支援としてコミュニティバス等で市民活動団体等を紹介する展示を実施した。	わらびネットワークステーションの登録団体数	212団体	213団体	×	260団体	「わらびネットワークステーションの登録団体数」は、令和元年度の259団体をピークに、以降、新型コロナウイルス感染症のまん延の影響で3年度までに約17%減少し、結果、目標値が未達成となった。なお、活動制限が緩和された4年度からは、フォーラムやセミナーの市民活動推進事業などを通じて増加傾向となっていることから、啓発活動や公民館等と連携を図りながら、引き続き団体数の増加に努めていきたい。
					わらびネットワークステーションの利用者数合計	945人	1,125人	×	2,000人	「わらびネットワークステーションの利用者数」についても、同様の傾向で利用者の減少となり、目標値が未達成となった。なお、同ステーションは前年度比19%増となるなど、3年度から利用者が増加傾向となっていることから、今後も情報提供やオンライン相談等様々な手法を用いて、団体活動の支援及び地域や社会的課題を解決する市民活動の促進を図り、利用者のさらなる増につなげていくこととする。
	協働事業提案制度	第11条	令和5年度実施事業(令和4年11月に募集) 指定テーマ3件、自由テーマ2件の提案があり、以下5件の事業が採択となった 指定テーマ『SDGsを活かした地域活性化事業』 1. 団体名:蕨マルシェ実行委員会 事業名:蕨マルシェ 2. 団体名:NPO法人子育てママ応援塾ほっこりーの 事業名:乳幼児を持つ母親のための「私ケア」事業 3. 団体名:蕨ひがし自然観察クラブ 事業名:セミのぬけがらから学ぶわたしのSDGs 4. 団体名:蕨飲食・食品業種組合 事業名:食による地域活性化プロジェクト『わくわくフェス』 5. 団体名:キラいくパフォーマンスビレッジわらび 事業名:子育て情報に関するお役立ち動画「繫げろ！母戦隊キラメントス！！」作成	令和6年度実施事業(令和5年11月に募集) 制度の名称を「蕨市SDGs提案制度」と改め、募集を行ったところ 指定テーマ2件、自由テーマ2件の提案があり、以下4件の事業が採択となった 指定テーマ『13 気候変動に具体的な対策を「わらびecoチャレンジ事業～ストップ温暖化～」』 1. 団体名:キラいくパフォーマンスビレッジわらび 事業名:お届け！母戦隊キラメントス！！～わらびのまち情報～ 2. 団体名:蕨市母子愛育会 事業名:環境と調和した食育推進事業 3. 団体名:NPO法人わらび市民ネット 事業名:気候変動がもたらす自然災害対策講座～8つのリスクとその対策を考える～(仮称) 4. 団体名:暮らしの保健室 あひるの家 事業名:誰もが立ち寄ることが出来る街の保健室～看護師による心と体の健康相談～	蕨市協働事業提案制度への応募件数	59件(累計)	63件(累計)	○	50件(累計)	令和5年度から、制度の名称を「蕨市SDGs提案制度」と改め、募集を行った。今後も積極的に周知を行い、応募団体の増加につなげていく。また、市職員にもSDGs提案制度を積極的に周知し、指定テーマを応募する部署の増加に努める。提案については、発案から実施に至るまで丁寧にサポートしていく。
	市民への支援	第12条	(1)公園・歩道緑地帯自主管理団体助成金、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金など、市民との協働に係る取り組みに対して、財政的な支援を行った。 (2) 蕨市ふるさとわらび応援基金条例に基づいて、ふるさと納税(ふるさと応援寄付)を受け入れ、6つの用途に対して基金を積み立てた。	(1)公園・歩道緑地帯自主管理団体助成金、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金など、市民との協働に係る取り組みに対して、財政的な支援を行った。 (2) 蕨市ふるさとわらび応援基金条例に基づいて、ふるさと納税(ふるさと応援寄付)を受け入れ、6つの用途に対して基金を積み立てた。	ふるさとわらび応援基金の寄附件数	162件	220件	-	-	引き続き、市民との協働の取り組みについては、地域課題や市民ニーズの把握に努めるとともに、対象事業の効果を見定めながら、必要な財政的支援を検討していく。